



# にじいろ通信

Rainbow color communication

笑顔あふれるまちなか病院 地域に寄り添い 安心・安全な医療を提供します。



霧島神宮の紅葉並木

## CONTENTS

- P2 院長あいさつ
- P3 研修医の紹介
- P4・P5 当院の訪問診療の紹介
- P6 あやめ会総会 LGBTQ+大学習会
- P7 地域医療連携（原口内科消化器科）



鹿児島医療生活協同組合  
国分生協病院



院長  
あいさつ  
message



院長 山下 義仁

猛暑が続いたこの夏、コロナの第11波も重なり、救急外来には多くの発熱者が押し寄せる状況が続きました。炎天下の畑で倒れていたお年寄り40℃もの熱があり意識レベル3桁とのことで救急搬入されましたが、コロナとインフルエンザBの抗原が陽性で熱中症にもなりかけていました。病棟にはお年寄りを中心にコロナ罹患者が一定数入院しており、この地域で急性期疾患を担っている本院としては、コロナ罹患者を受け入れるべきか、熱中症や肺炎などの急性期疾患を受け入れるべきか、対応に苦慮する毎日が続きました。私たち国分生協病院はCOVID-19にも対応しつつ、この「地域の困った状況」に応える身近な急性期病院としての役割をできるだけ果たしていきたいと考えています。

さて、現在の日本は超高齢少子社会が年々進みつつあります。総人口に占める高齢者人口割合は上昇が続いており、2022年には29.1%となっています。年間死亡数も増加を続け、団塊の世代が80歳代後半となる2030年代には160万人を超える推計です。厚生労働省「人口動態調査」によると死亡場所の約8割が病院である一方で、2017年度「人生の最終段階における医療に関する意識調査」では、約8割が人生の最期を迎えたい場所として自宅を望むという結果が出ています。ここ霧島市でも傾向は同じで、ご高齢の方が齢を重ねるごとに通院が困難となり、さらに一人での生活も困難となって施設のお世話になる方々を多く目にします。私たちは「その人らしく生きることを支える」ためにできることをしようと訪問診療へのご要望にもお応えしようと考えています。在宅をはじめ施設からのご要望も伺っています。お蔭様で現在40名ほどに訪問診療させて頂いています。また、在宅療養支援病院として4か所の開業の先生方と連携をさせて頂いていますが、症状悪化時の入院対応だけでなく、日頃の訪問診療での連携のご要望も頂いています。

来る11月13日水曜日19時から5年ぶりの地域医療懇談会をホテル京セラにて開催の予定です。コロナ禍でなかなかお会いできませんでしたので、久しぶりに本院の医師をはじめ職員ともお会い頂き、親交を深めたく存じます。今回は本院で取り組んでいる訪問診療についてご紹介させて頂いたり、連携している開業の先生方からのお言葉を頂いたりする予定です。詳細は改めてご案内致します。御多忙中とは存じますが多少のお時間を頂けますと幸いです。

残暑厳しい折、くれぐれもご自愛くださいませ。これからもよろしくお願い申し上げます。

# 地域を守る医師を目指します ― 研修医の紹介 ―



とまり せいいちろう  
**泊 誠一郎**

## 1：出身地と研修年数

鹿児島県南さつま市（旧加世田市） 3年目の内科専攻医

## 2：国分での研修内容について

内科研修を深く経験させてもらっています。入院治療、救急外来・一般外来診療を中心に、心カテ、シャントオペ、内視鏡など、多岐に渡り経験できることがやりがいと刺激があって楽しいです。

## 3：研修中、大変だったことについて

特に重症の患者様の治療方針については、うまくいって嬉しい時もありますが、うまくいかなくて悔しいときの方が多いです。みなさまに助けをいただきながらですが「次はもっとうまくいくようにやってやる」という思いで、日々もがきながらも成長している実感があります。

## 4：研修中に印象に残っているエピソード

こんなに重症なら退院して元の生活に戻れないのでは？と感じた患者様が、元気になって帰っていく時が一番嬉しいです。特に救急搬送時に意識障害があった方が入院して、徐々に良くなって最後に感謝を述べて退院された時は感動しました。

## 5：国分での研修の感想

私は初期研修の最初の導入期研修が国分生協病院でした。新しいこと、日々の業務でいっぱいでしたが、皆さんのおかげで近い距離でコミュニケーションをとりながら仕事のできたので、今思うと楽しい思い出しか残っていません。そのため3年目の研修も国分からスタートすることが夢でした。夢が叶いました。これからはもっと多くの患者様の役に立てるように学び続けていきますのでどうぞよろしくお願いします。



うえはら いおり  
**上 原 伊 織**

## 1：出身地と研修年数

鹿児島県鹿児島市 研修医2年目

## 2：国分での研修内容について

2年目の地域医療研修として、病棟業務と外来研修をそれぞれ1ヶ月させて頂きました。多岐にわたる疾患を診ることに加え、腹膜透析やPEG造設にも関わり、多くの経験をさせてもらいました。

## 3：研修中、大変だったことについて

患者様とご家族との面談、今後の方針決定です。原疾患が軽快したとしても退院に向けてはADL、生活環境など様々な問題が立ちはだかります。患者背景を考慮し、他職種と連携しながら今後の生活の見通しを立てることは、医学的知識だけでなく、社会的知識や心情面など総合的な対応力が求められると痛感しました。

## 4：研修中に印象に残っているエピソード

透析を拒否されるネフローゼの患者様は強く印象に残っております。運良く透析せず軽快しましたが、当時は導入間近の状況でした。自己決定権の尊重と、ご本人の判断力、ご家族の希望や医療者としての責務の塩梅を深く考えるきっかけとなりました。

## 5：国分での研修の感想

総合力を底上げして頂いた研修でした。問診や診察、判断力、考察など力不足を痛感する場面が多く、上手い出来ないことも多かったですが、その都度多くの方々に助けて頂きました。どの職種の方々も、私の拙い疑問やオーダーに対して嫌な顔されることなく、快く対応して下さいったことが印象に残っております。皆様から頂いた支援は自分の糧とするだけでなく、また誰かに還元しなければと強く思いました。

鹿児島生協病院に戻ることになりますが、きっとまた皆様とは関わることがあるかと思います。その際に少しでも貢献できるよう努力いたします。

# 当院の訪問診療の紹介

## 訪問診療事業拡大にむけて

急性期と地域包括ケア病棟をもつ病院として、自宅や介護施設への訪問診療を行い、必要時にはすぐに入院治療を行うことができる、小回りの効く在宅医療を行っていきます。

在宅療養支援病院として、地域内の医療機関と協力し、霧島市の在宅医療の発展に尽力します。



## ● 当院の訪問診療について

**訪問地域** 霧島市（国分地区 / 隼人地区 / 福山地区 / 牧園地区 / 霧島地区）※下線地区は要相談

**訪問時間** 14:00～16:30

**担当医師** 5名（内科）

**在宅で可能な検査・処置** 血液検査／尿検査／点滴／注射／褥瘡処置／創傷処置／ストマ管理・処置  
バルン管理・交換／在宅酸素管理／麻薬処方・管理 など

## ● 訪問診療開始までの流れ

01

### ご相談



まずは、電話またはFAXにて当院の地域連携室へご連絡ください。  
医療機関、ケアマネージャー、介護事業者、施設関係者など、どなたでも構いません。  
(TEL) 0995-45-3206 (FAX) 0995-45-4938

02

### 面談



訪問診療導入の検討会後、一度ご来院いただき、面談をいたします。  
担当医が病状や介護状況をお聞きし、訪問診療の詳しい説明を行います。  
※ご来院が困難な場合は、ご自宅等へお伺いして説明することも可能です。

03

### ご契約



医師が訪問診療可能と判断した場合、診療計画、緊急時の連絡方法、費用負担等を説明し、同意されたら契約開始となります。

04

### 訪問診療開始



担当医師、看護師が定期的に訪問診療を行います。  
24時間365日連絡体制を整えており、当院には入院設備がありますので、入院も可能です。  
症状によっては医師の判断で、救急車を呼んでいただくことがあります。  
※在宅グループの検討会は毎月2回（第1・3水曜日）となっております。  
※在宅看取りなど、お急ぎの依頼の場合はこの限りではありません。

# 訪問診療 1日密着

## ✓ 訪問予定チェック、電話かけ

午前 9:00



医師、看護師、事務にて本日の訪問予定患者を共有し、看護師にて訪問当日の電話かけを行います。患者さんの体調やご家族の気になることなど、事前に聞き取りを行い医師へ報告します。

同時に、在宅管理をしている患者の訪問看護連絡票の確認を行います。訪問が必要な場合は、当日のコースに組み込み、臨時往診に向かうこともあります。

## ✓ 訪問診療準備

午後 12:00

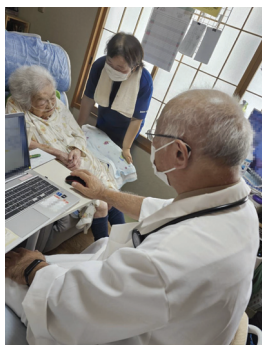


訪問診療前の電話かけ終了後、事務にて訪問診療用の電子カルテの準備を行います。

看護師は、患者ごとのオーダーを確認し、検査、処置に必要な物品を揃え、訪問診療バッグへ用意します。

## ✓ 訪問診療開始

午後 14:00



診療時間は14:00~16:30です。

医師、看護師 2 名が訪問診療へ向かいます。移動中も有効活用するべく、当日訪問の患者さんだけでなく、管理中の患者さんの情報共有を行い、車内会議をします。

診察は1軒あたり10分程度です。時間を十分にとり、病状や不安に対して、患者本人とご家族の話を傾聴します。ときには、雑談を楽しむことで、本人の目標や趣味などを共有する時間も大切にしています。

処方箋はその場で発行し、モバイルプリンタで出力します。

## ✓ 帰院、診療録の確認

午後 16:30



検体提出や、物品の片づけを終えたら、当日に訪問した患者さんの状態や診療の内容について確認します。

治療方針の変更等あった場合は、訪問看護やケアマネージャーへ連絡を入れ、すばやく情報共有を行います。



「あやめ会」とは、糖尿病治療中の患者様だけでなく、どなたでも参加ができ、職員とともに悩みや体験などを語り合いながら、患者様と共同で結成した会です。

今年度7月にあやめ会総会を開催しました。

今回の総会では、会員同士での自己紹介から始まり、糖尿病についてのクイズを実施、食事編、運動編に分けて会員の方々の生活で不安な点な

どを中心に出題しました。参加していただいた会員の皆さんからは、「自分の病気について学ぶことができた」や、「同じ病気を抱えている人と悩みや不安を共有できて安心した」等の声が上がりました。

あやめ会は、同じような悩みや不安を抱えた患者さん同士が、お互いに支えあい、励ましあうことで問題の解決や克服を図ることを目的としています。

今後も当院が主体となり、患者さんが参加できる企画・運営を行っていきたいと思います。

現在あやめ会の会員は約20名です。どなたでも入会できますので、お気軽に当院職員までお声がけください。

## LGBTQ+ 大会学習



今年度の法人教育学習月間の取り組みとして、7月31日にLGBTQ+について学ぶ大学学習会が開催されました。講師に、一般社団法人LGBT-JAPANパートナーズの児島希望氏を招いて「多様な性を学ぶLGBTQ+とは～誰もが安心して利用できる事業所づくりのヒント～」をテーマに、リモートでの講演を行っていただきました。LGBTQ+の基本的な知識や、多様な性への理

解、どのような事業所が誰もが安心して利用できるのかという点を具体的な事例をもとに学ぶ貴重な機会となりました。

学習会に参加した方々からは、「LGBTQ+という言葉聞く機会は多くなってきたが、実際にどういふことなのか分かっていなかった。学習会を通して当事者からの言葉を聞いたことで新たな視点を感じることができ学びになった」「男性・女性ではなく、あなたらしくという言葉がとても心に響いた」などの声があり、参加者それぞれの受け止め方で、性に対して学びを深めることができた時間となりました。

日本ではまだまだ、「性」について考える機会や時間が多くはありません。その為、多様な性の在り方を知るきっかけも少ない状況です。自分と違う性への視点を認めるには、知ることから始めることが必要です。当院では、治療を行う中で多くの患者様（人）と関わっていきます。人それぞれの考え方や性格を受け止めていくことが信頼関係を築ききっかけとなり、良い医療の提供へと繋がっていくため、今後も「人を知る」ということを学べる機会づくりに努めていきたいと思っています。



## 地域医療連携 ～地域の先生方より～

### 原口内科消化器科



原口 雄二 院長

#### 1 当院の紹介

このたびは国分生協病院の広報誌「にじいろ」通信への寄稿依頼をいただき誠にありがとうございます。当院は、平成元年に内科消化器科として開業し、今年で、36 年目を迎えます。地域のかかりつけ医を目指し、診療を続けてきたつもりですが、これからも元気な間は、頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。診療内容としては、内科一般、特に消化器疾患（肝、胆、膵及び上部消化管）と高血圧症、糖尿病等の生活習慣病を中心にを行っています。また、循環器外来の充実のため、週に 2 日ですが大学より循環器の医師に来ていただき、心臓、血管系の専門的な診療を行っています。こちらの取り組みも既に 30 年を経過し、循環器外来については患者さまにも、それなりの評価を頂いていると考えています。

#### 2 国分生協病院へのお礼

ただ当然ですが、個人の診療所には限界があります。緊急性の高い患者さまや入院の必要な患者さまも、たくさんいらっしゃいます。そんな患者さまの紹介先として、国分生協病院様には、今まで本当にお世話になってきました。先生方や、スタッフの皆様には、随分無理をお願いし、患者さまを受け入れて頂きました。誠にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

国分生協病院様には、これからも地域の基幹病院としての役割を担って頂き、引き続き霧島市の地域医療に貢献して頂きたいと思っております。今後も、お世話になることが、多々あろうかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

原口内科消化器科の外観



## 外来診療体制についてのお知らせ

|    |                          |                                | 月   | 火                              | 水                | 木                    | 金                       | 土                                                        |
|----|--------------------------|--------------------------------|-----|--------------------------------|------------------|----------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------|
| 午前 | 一般内科<br>(8:45~11:00)     |                                | 吉 見 | 吉 見                            | 長 谷              | 交 替                  | 吉 見                     | 救急対応<br>急患のみ<br>(紹介受入可)<br>※ご紹介の方は、対応させていただきますので、ご連絡下さい。 |
|    | 専門<br>外来<br>(8:45~11:00) | 循 環 器                          | 玄   | 中野(第1・3)<br>川嶋(第2・4)           | 吉 見              | 吉 見                  | 川 嶋                     |                                                          |
|    |                          | 呼 吸 器                          | 山 下 |                                | 檜田祐一<br>(第1・2・4) |                      | 檜田祐一<br>(第1・2・4)        |                                                          |
|    |                          | 消化器・肝臓                         |     | 小坂元                            |                  |                      |                         |                                                          |
|    |                          | 腎・膠原病                          | 前 村 |                                |                  | 前 村<br>(第1・3)        |                         |                                                          |
|    |                          | 神経内科                           |     |                                |                  | 大 山                  |                         |                                                          |
|    |                          | 内 分 泌                          |     |                                | 檜田久枝<br>(第1・2・4) | 藤 崎                  | 檜田久枝<br>(第1・2・4)        |                                                          |
|    | 外 科<br>(9:30~12:00)      |                                |     |                                | 税 所              |                      | 税 所                     |                                                          |
| 午後 | 小児科<br>(9:00~12:00)      |                                | 玉 江 | 玉江(一般)<br>酒井(第2・4予約)           | 玉 江              | 森 田                  | 交 替                     | 玉江<br>(第3予約)                                             |
|    | 内 科                      | 14:00~17:00                    | 交 替 | 交 替                            |                  | 交 替                  | 交 替                     |                                                          |
|    |                          | 予約のみ<br>15:00~17:00            |     | 山 下                            |                  | 大 山<br>吉 藤 崎         | 山 下<br>檜田久枝<br>(第1・2・4) |                                                          |
|    |                          | 17:00~18:30                    | 交 替 | 交 替                            |                  | 交 替                  | 交 替                     |                                                          |
|    | 小 児 科                    | 予約のみ<br>予防接種/健診<br>14:00~16:00 |     | (14:00~16:00)<br>玉 江           |                  |                      | 交 替                     |                                                          |
|    |                          | 予約のみ<br>14:00~17:30            |     | (14:00~17:30)<br>酒 井<br>(第2・4) |                  | (14:00~16:30)<br>森 田 |                         |                                                          |

※学会出張等の都合により変更になる場合があります。詳しくはお電話にてご確認ください。

※平日の専門外来への紹介は予約制となっていますので、事前にお電話をお願いします。

※急患の方は、従来通り電話（0995-45-4806）にてご相談下さい。



鹿児島医療生活協同組合  
国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14  
電話 (0995) 45-4806 FAX (0995) 45-4938  
<http://kokubu-seikyo.jp>